

宮城のチカラ テレビのチカラ「声かけ地デジ化大作戦」を開催（12/22-25）

岩手、宮城、福島と3県同時開催の「声かけ地デジ化大作戦」。宮城県では初日の12/22(金)に東北有数の百貨店、藤崎本館(仙台市)のイベントスペースで「声かけ地デジ化大作戦」第1部を開催した。「地デジ化声かけ隊長」に任命されたプロサッカーJ1のベガルタ仙台の渡辺広大選手会長と、昨年、引退したばかりの元「ミスター・ベガルタ」千葉直樹さんが参加。また地元の地デジ推進大使の各局アナウンサー5名も集結。そして地デジ芸人のテツ and トモさんが「♪いませんか〜、いませんか〜、地デジ化まだの人」のリズムにあわせて、地デジ未対応の方に早めの準備を呼びかけた。



この後は第2部の「地デジ化声かけ隊」の出発式。藤崎ファーストタワー館前で開催。東北総合通信局の武井局長、民放連の広瀬会長、NHKの永井専務理事のご挨拶の後、渡辺声かけ隊長から「宮城のチカラを信じて、みんなで協力して前進して行こう。そして、宮城のチカラを強くするために、テレビのチカラが必要だ。地デジになってテレビが視られなくなる人がひとりもないように地デジの準備、よろしくお願ひします！！」と出発宣言が寄せられた。



東北総合通信局の武井局長、民放連の広瀬会長、NHKの永井専務理事、そして地元の放送事業者代表者は若生副知事を表敬するために地デジ化街宣カーで県庁に向かった。若生副知事にはアナログ放送終了に向けた今後の取り組みについて説明し、宮城県の協力を要請。



特注の地デジ化街宣カーは12/22（木）から25日（日）まで仙台市内を巡回して、「アナログ放送は3/31に終了するのでお早目の対応をお願いします。地デジの相談はデジサポへ」をアピールした。

「仙台七夕まつり」となる仙台の二大イベントである「SENDAI 光のページェント」がこの期間も開催中で、街宣カーは会場の定禅寺通りも回って、地デジ化を呼びかけた。



またヤマダ電機仙台駅前店の協力で 12/23-25 の4日間、地デジ化声かけ相談会&抽選会も開催。抽選の前にはアドバイザーたちが「地デジ化、済んでいますか?」と確認。地デジカグッズを当てた方たちは大喜びだった。



宮城のチカラ テレビのチカラ「声かけ地デジ化大作戦」は、今後は仙台市だけでなく、宮城県全域を巡回し、未対応世帯に地デジ化を呼びかけていく。